

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第56回 2023年1月)



今年も新春らしいことには一切触れない食いしん防災部会です。かわりに、今回から3回シリーズで、中学時代の思い出深い教師のことについて書きます。「防災と何の関係があるんだ？」と問うなかれ。関係あるかないかは、最後まで読めばわかるはず。

食いしん防の通った中学に、ハシモト・シゲオという国語の先生がいた。これがとんでもない先生だった。年齢は当時30代後半くらいだったろうか。全校生から恐れられる存在だった。中肉中背で顔立ちも地味だが、とにかく目つきが怖かった。もし殺人鬼と出会ったらこんな感じではないか、と思えるような雰囲気や霧を全身から発しているのだ。低い声やししゃべり方も殺気に満ちていた。とにかく尋常でない怖さには、名うての不良生徒も怯えて小さくなるほどだった。

ハシモト先生は担任クラスを持たず、毎年2年生の国語を担当していた。この授業が、あり得ないほど独特だった。



まず先生が入ってきて教壇に立つと、日直が「起立、礼、着席」の号令をかけ、皆が礼をする。それが終わると先生は教室の後ろに行き、最後までその場所から動かない！

生徒には先生の作ったプリントが配られ、教科書のページと問題が記されている。たとえばこんな感じだ。『P45の●●という単語の意味は何か』『P46にある指示語は何を指しているか』『段落ごとの要旨をまとめよ』『全体を意味段落に分けよ』『意味段落ごとの要旨をまとめよ』『全体の要旨をまとめよ』

その日はプリントの何番をやるかあらかじめ伝えられており、始業チャイムが鳴るまでに、誰かが自主的にその答えを黒板に書いておくことになっている(ただし1人1問に限られる。同じ生徒が複数の答えを書けないルールだ)。

先生が教室の後ろに立つと、皆で声をそろえてプリントの問題を読む。ちょっとでもそろっていないと、後ろから「やり直し」とドスのきいた声が飛んできて、そろうまで何度でも言い直しさせられるのだ。次いで黒板に答えを書いた生徒が起立し、「発表します●●(自分の名前)です。◆※☆口だと思いましたがどうですか」と言う。

それに対して疑問があれば、自主的に立ち上がって質問する。「質問します●●です。◆※の意味がわからないので教えてください」あるいは「◆※は▲☪ではないかと思うのですがどうですか」



質問された人は立ち上がって「回答します●●です。それは♪★です」。質問した人は回答に納得すれば「わかりました」と言う。再質問をしてもいい。質問された人が回答できない場合は、素直に「わかりません」と応える。その場合、別の人が答えることもできる。

こんなやり取りを経て、正解にたどり着いたと思った時は、皆で声をそろえて「次に進んでいいですか？」と訊く。正解ならハシモト先生が「よし」と

言い、また皆で声をそろえて問題を読むことから始めるプロセスを繰り返すのだ。

では皆で到達した答えが間違っていた場合は？ 先生が正解を教えてくれる？ いや違う。その場合はハシモト先生がひととき冷たい声で、「アホかお前ら。次」と言うだけ。つまりこの先生、いっさい自分からは教えてくれないのだ！

その日予定されていたすべての問題が終わると（まるで計ったようにピッタリの時間になる）、1回も発言しなかった生徒は、立ち上がって自己申告していかねばならない。発言しない（すなわち問題解決に参加しない）ことが成績に直結するのは明らかだった。

みんな（食いしん防も含めて）ハシモト先生が嫌いで、**国語の時間は憂鬱**だった。こんな変てこな授業で勉強になるのかと疑った。やんちゃな連中（当然ながら授業には不参加）は、「**そのうちシゲの野郎をぶちのめしてやる！**」といきまっていた。

おそらくこんな授業のやり方は、日本でもここだけだったろう。不穏な状態でスタートしたハシモト先生の授業がどうなったか。続きは次号で。



↑ ハシモト先生のイメージ 逆らったら殺されそうな雰囲気はわかるかな？

TOPICS

☆悲報！ ついにネタがつきる（涙）

コロナのせいにはできないが、食いしん防災部会は12月に何の活動もできなかった。唯一予定されていた『災害支援市民ネットワークしが』の研修会も、よんどころない事情で不参加。すんませ〜ん く(_)>🌀

昨年もいろいろとお世話になった中村準一さんが、わざわざ年末にあいさつに来てくれた。

「来年も頑張って個別避難計画の作成を進めていきましょう！ ガハハハッ！」

中村さんはいつも元気で前向き。東近江市すべての自治会で「誰も取り残さない防災」実現を目指して、日夜努力を続けておられる。食いしん防は中村さんに足を向けて寝られないのである。家がどの方向にあるのか知らんけど。

これからもよろしく願いいたします！

中村さんのイメージ(さわやかで豪快！) →



今後の活動予定

- 1月20日 こと防第三小ブロック会議
30日 こと防支所ブロック会議
未定 こと防の他のブロック会議も続々開催予定
※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：ウクライナの報道などに接していると、日本にもミサイルが飛んでくるのではと心配になってきます。どうやって戦争から身を守ればいいのでしょうか。

A：おおっ、新年早々から何というシリアスで難しい質問！ 軽々しくは答えられないが、個人的には、軍備を増強するより外交に力を入れてほしいです。食いしん防としては、ミサイルが飛んでくることより、**世界的な食糧危機が訪れて、食品の輸入がストップするのが心配**。自給率を少しでも上げるために、なるべく国産品を買うよう努めています。

Q：巻頭のグダグダ話を3回シリーズでやるとは、さてはネタが尽きてきましたね。

A：わーん、**グダグダ話**って言うなあ。トピックスのネタに困ることはあっても、グダグダ話……もとい巻頭エッセイに書くネタはそう簡単には尽きないぞよ。ハシモト先生の話の3回に渡って書くのは、それだけの内容があるから。最後まで読めばきっと感動する……はず。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

